

# ふじさんっこ応援隊推進事業

(シニア世代と子どもとの共通体験の機会創出事業)

## 事 例 集



令和6年3月

シニアクラブ静岡市

一般社団法人静岡市老人クラブ連合会

はじめに

近年、少子高齢化が一層進展する中で、地域社会は大きく変容し核家族化や連帯感の希薄化などによって、子育て中の親世代の育児不安が増大しています。また、この4年間のコロナ禍によりその傾向は一層顕在化しています。

このような状況の中でシニアクラブは、以前から高齢者のもつ豊富な知識と経験を活かし、子どもたちとの交流を中心にした世代間交流事業・伝承活動を実施してきました。

この度、静岡県が提唱する「ふじさんっこ応援隊モデル事業」に賛同して、令和5年度にモデル事業を実施したシニアクラブの取組みを、事例集として発行いたしました。

モデル指定されたシニアクラブには、地域の特性を生かした活動に取り組んでいただきました。このような事例を、他のシニアクラブにおいても参考にいただき、子育て支援の活動を実践することにより、明るく住みよい地域づくりが一層進展していくものと確信しております。

令和 6年3月

シニアクラブ静岡市  
一般社団法人静岡市老人クラブ連合会

## 1 ふじさんっこ応援隊モデル事業

### (1) 清水区

飯田地区シニアクラブ連合会

ペタンク交流会

### (2) 駿河区

大谷地区シニアクラブ連合会

ペタンク交流会

### (3) 葵 区

竜南学区シニアクラブ連合会

ハーモニカ交流会

# 清水区シニアクラブ連合会（飯田地区シニアクラブ連合会）

## ふじさんっこ応援隊推進事業実績書

1. 実施事業名 (項目・種類)	ペタンク交流会 (飯田東小学校)
2. 事業の概要 (1) 内 容	地域のシニアが中心となって、飯田東小学校の児童たちに健全なスポーツ（ペタンク）にふれ合う楽しさを学んでもらう。
(2) 開催日	令和5年10月24日（火）
(3) 会 場	静岡市立飯田東小学校
(4) 参加者	児童69名（2回に分けて実施） シニアクラブ会員15名
(5) 講師又は 指導員数	公益社団法人日本ペタンクボール連盟 上級指導員・A級審判員 井上まち子氏
3. 事業の成果と 課題	<p>飯田地区では、小学生にとって耳慣れないペタンク競技だったため、当初は尻込みしていた児童もいたが、シニア会員が優しく指導したため、徐々に講習会も盛り上がりを見せてきた。</p> <p>終盤に練習試合を全員で行ったが、お互いに得点すると喜び合い、互いの健闘をたたえ合うなど、熱中してきた。</p> <p>ルールが単純で分かりやすいこと、体力の優劣に関係しないスポーツであるため、シニア会員も指導が容易にできた。</p> <p>飯田東小学校で初めての試みであったが、今後は他地区へも広めてゆきたい。</p>

# 駿河区シニアクラブ連合会（大谷地区シニアクラブ連合会）

## ふじさんっこ応援隊推進事業実績書

1. 実施事業名 (項目・種類)	ペタンク交流会 (大谷小学校)
2. 事業の概要 (1) 内 容	地域のシニアが中心となって、大谷小学校の児童たちに健全なスポーツ（ペタンク）にふれ合う楽しさを学んでもらう。
(2) 開催日	令和6年2月 27日 (火)
(3) 会 場	静岡市立大谷小学校
(4) 参加者	児童58名（2回に分けて実施） シニアクラブ会員15名
(5) 講師又は 指導員数	公益社団法人日本ペタンクボール連盟 上級級指導員・A審判員 井上まち子氏
3. 事業の成果と 課題	<p>大谷地区では、小学生にとって耳慣れないペタンク競技だったため、当初は尻込みしていた児童もいたが、シニア会員が優しく指導したため、徐々に講習会も盛り上がりを見せてきた。</p> <p>終盤に練習試合を全員で行ったが、お互いに得点すると喜び合い、互いの健闘をたたえ合うなど、熱中してきた。</p> <p>ルールが単純で分かりやすいこと、体力の優劣に関係しないスポーツであるため、シニア会員も指導が容易にできた。</p> <p>大谷小学校で初めての試みであったが、今後は他地区へも広めてゆきたい。</p>

# 葵区シニアクラブ連合会（竜南学区シニアクラブ連合会）

## ふじさんっこ応援隊推進事業実績書

1. 実施事業名 (項目・種類)	ハーモニカ交流会 (竜南小学校)
2. 事業の概要 (1) 内容	地域のシニアが、竜南小学校の児童たちにハーモニカ演奏の楽しさを体験してもらう。
(2) 開催日	令和6年2月 13日 (火)
(3) 会場	静岡市立竜南小学校
(4) 参加者	児童17名、シニアクラブ会員12名
(5) 講師又は 指導員数	竜南学区第二白寿会会長 飯野紀代子 (葵区シニアクラブ連合会理事)
3. 事業の成果と 課題	<p>ハーモニカは1960年代後半から鍵盤ハーモニカ（ピアノカ）が小学校の教育楽器として採用されていたため、近年小学生にとって馴染みのないものであった。半面、ハーモニカは腹式呼吸を多用することから、副交感神経が優位となりリラックス効果が期待できるなど、魅力が見直されてきた。このため、シニアクラブ会員が児童たちに初めてのハーモニカ演奏の体験会を実施した。当初は上手く音が出ない児童もいたが、短時間で上達し、最後には児童とシニアクラブ会員が童謡を合奏した。</p> <p>今後もより多くの児童がハーモニカの楽しさを体験できる場を提供したい。</p>



令和6年2月27日 大谷小学校

